

宮城県感染症発生動向調査情報

令和04年10月20日発行

2022.10.10 ~ 2022.10.16 - 第41週 -

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第38週	第39週	第40週	第41週
水痘	3 0.75		1 0.14		1 0.50	2 0.07	7 0.12	200				
流行性耳下腺炎							0 0.00	64				
感染性胃腸炎	4 1.00	25 2.50	15 2.14	3 0.38		42 1.56	89 1.53	9,270	◎	◎	◎	◎
手足口病	34 8.50	15 1.50	11 1.57	12 1.50	1 0.50	20 0.74	93 1.60	4,864	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑							0 0.00	41				
突発性発しん	2 0.50		2 0.29	2 0.25	3 1.50	5 0.19	14 0.24	967				
ヘルパンギーナ	2 0.50	1 0.10	1 0.14			2 0.07	6 0.10	798	○	レ	レ	
インフルエンザ							0 0.00	19				
咽頭結膜熱							0 0.00	256				
流行性角結膜炎						2 0.33	2 0.17	76				
急性出血性結膜炎							0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 0.25	1 0.10		1 0.13		2 0.07	5 0.09	486				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	5				
無菌性髄膜炎							0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎						2 0.40	2 0.17	21				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	7 1.75	11 1.10	2 0.29	1 0.13		19 0.70	40 0.69	889	◎	◎	◎	○
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	1				
拡張 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)											
	川崎病											
	不明発疹症					2						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 男性1名(第40週)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症
塩釜管内 女性1名(O157)
気仙沼管内 女性1名(O型不明)
仙台管内 女性1名(O157)

4類感染症: 報告なし

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 男性1名(*Klebsiella pneumoniae*, 第40週)
男性1名(*Klebsiella aerogenes*)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症
石巻管内 男性1名
後天性免疫不全症候群
大崎管内 男性1名(第40週)
侵袭性肺炎球菌感染症
大崎管内 男性1名
水痘(入院例)
大崎管内 女性1名(第40週)
梅毒
大崎管内 男性1名
仙台管内 男性2名, 女性3名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)
宮城県(仙台市を除く) 2,577名
仙台市 2,173名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 【定点把握対象疾患】

[手足口病]

仙南管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

~宮城県保健環境センター~

新型コロナウイルス感染症患者より
気仙沼管内 第41週採取分 SARS-CoV-2 2件

RSウイルス感染症患者より
塩釜管内 第39週採取分 RSウイルス サブグループA 2件

手足口病患者より
塩釜管内 第39週採取分 コクサッキーウイルスA6型 1件
大崎管内 第40週採取分 コクサッキーウイルスA6型 2件

呼吸器感染症患者より
塩釜管内 第39週採取分 パラインフルエンザウイルス1型 1件

~仙台医療センターウイルスセンター~

	中間報告		
	確定 第38週採取分 (9.19~9.25)	第39週採取分 (9.26~10.2)	第40週採取分 (10.3~10.9)
RSウイルス	3件	1件	2件
ヒトメタニューモウイルス	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件

4. 今週のコメント

【秋冬の感染症対策】

秋から冬にかけては、インフルエンザ、RSウイルスなどの呼吸器感染症が流行します。冬季は空気が乾燥するために、気道粘膜の防御機能が低下することも感染拡大の要因と考えられています。新型コロナウイルスの出現以降、インフルエンザの患者数は激減しましたが、今年は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが同時流行する可能性が高いと言われています。

また、ノロウイルス等が原因の感染性胃腸炎患者も増加するシーズンとなりますので、併せて今後の動向に注意が必要です。引き続き、マスクの着用や手洗いなど日常生活での予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

